



みちのくの小京都「角館」

2015年11月7日、これから出かけるのは岩手の盛岡、東京駅9:36発[はやぶさ11号](#)で向かいます。新幹線のチケットはインターネットで購入、パソコン画面に促されるままユーザー登録し、クレジットカード番号を入力すれば25%引きで切符購入が出来てしまいました。最近、なんでもかんでもパソコンで買い物ができ、「新幹線よ！お前もか。」といった感じです。

盛岡到着は11:48、「陸」行(りっこう)で遥か遠くの「奥」にあった「みちのく」(陸奥)は、芭蕉の時代には2ヶ月の時を要したものの、今では僅(わず)か2時間12分で行ける時代になりました。奥といえば、[沖縄本島の北端](#)も「奥」と云い、人がなかなか近づけなかった所、北の果てにはどこか神秘の香りが漂います。



手作りアイスクリーム牧舎「松ぼっくり」

盛岡に着いたらレンタカーに乗り換えての移動です。車を借りて真っ先に向かったのは、雫石スキー場のすぐ近く、地元住民お勧めの手作りアイスクリーム牧舎「[松ぼっくり](#)」です。

こんな寒い中、アイスクリームしか販売していないのですが、お店は客で一杯です。寒い中でアイスクリームを食べると美味しいと、ロシア人の友達がいっていましたが、それを身をもって試す時がやって来ました。頼んだのはブルーベリーとレーズンバターのダブル盛り。周辺の唐松林は紅葉で秋一色、寒さに震えながら食べるアイスクリームはとても素朴な味でした。



角館「武家屋敷通り」

何でこうまでしてアイスクリームを食べなければいけないのかと思いながらも、次に向かうのはみちのくの小京都「角館」。角館は秋田県なのですが、盛岡からでも角館街道を通ればおよそ1時間半で到着します。

角館街道といえば秋田から盛岡へ抜ける古くからの重要路で、途中には、神秘の田沢湖や秘湯・乳頭温泉などがあり、魅力溢れる街道です。

角館に到着し、利用したのは桧木内(ひのきない)川沿いにある市営の「桜並木駐車場」、料金は一日500円でした。仙北市駐車場条例によれば、同じく市営の「田町山駐車場」には第6条の別表に定める駐車料金の記載が無く、つまりは無料のようでした。「無知は損」とまでは云いませんが、もっとはやくこの情報を知っていたらと悔やまれます。

さっそく[武家屋敷](#)の並ぶ通りに行ってみれば、それはそれは見事な紅葉です。紅葉が美しくなる条件は温度差と日光と湿度であって、特に夜間は5～10℃まで冷え込む必要があるとのこと。今年の東京は11月になっても暖かい日が続く、紅葉はぼけた感じになっていますが、東北の紅葉は鮮やかさが違います。同じく通りには、葉を落とした[枝垂桜\(しだれざくら\)](#)もたくさん植えられていて、春になれば上品な淡いピンクの色に包まれるのだらうと思います。